

令和2年8月24日

かわら版のページ差替えについて（お詫び）

鯨城会会長 細野 博行  
総務 G 副幹事長 谷口 賢三

令和2年7月発行の鯨城かわら版2年1号に誤植がありました。4ページの熱田区ならびに港区の会長あいさつの写真が入れ違いとなっていました。また文章において、他ページの文言が紛れ込んでおり訂正しました。いずれも校正作業における不備によるもので、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。これからは記事の読み合わせを厳正に行うとともに、内容について投稿者の了解を得るようにいたします。

**支え合う思いやりのある熱田鯨城会**

熱田区 熱田鯨城会 会長 九澤 康雄 (31 陶芸 英会話)

昨年に30周年の節目を迎えました。記念祝賀会は大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。令和2年度は3名の新会員を迎え90名体制でスタートします。熱田区の学生は少ないうえ、入会率も減少しており厳しさを感じています。熱田鯨城会は自分自身が楽しむことがモットーです。同好会や懇親会を楽しみ、ボランティア活動を通じて地域貢献にも積極的に参加します。先輩のアドバイスとフォローの下、会員皆で協力して支え合う思いやりのある熱田鯨城会を目指します。



**「健康第一」を大切に**

港区 港鯨城会 会長 佐藤 諄二 (29 園芸 天文気象)

今年度8名の新会員を迎え、退会者を除いて昨年と同様に76名でスタートしました。私も、会長の任を受けましたが、予期しない新型コロナウイルス「緊急事態宣言」で総会・懇親会等中止になり、新会員との交流もなくなりました。解除になっても「特効薬、ワクチン」が開発されない限り、今までの「日常生活」に戻ることは難しくなりますが、まずはこの1年間、状況をみながら「健康第一」で無理のないように、活動を進めたいと思います。

